



参加者に街並みなどを解説する「下妻いいとこ案内人の会」メンバー（三道地公園前で）

下妻の歴史的街並みを再発見

第2回下妻街並みウォーキング

隠れた下妻の名所を歩いて案内しようと「茨城県建築士会下妻支部」と観光ボランティアグループ「下妻いいとこ案内人の会」がタッグを組んで企画運営する「下妻街並みウォーキング」が11月23日、市内上町、三道地、西町を中心とした下妻街道沿いで開催され、市内外から42人が参加しました。

大正時代に建築された外国人宣教師の「ビンフォード邸」、戦後の開業で昭和の香りが残る「中嶋医院」、皇室関係者も宿泊した昭和モダン和風建築の「沼尻住宅（旧六芳園）」の3軒が特別公開されたほか、沼尻住宅の庭園では下妻市観光物産会が提供するドーナツとお茶のおもてなしが参加者を喜ばせていました。

参加者からは「他のコースもぜひ歩いてみたい」「こういう古き良き建物は今後も残してほしい」などと話が聞けました。

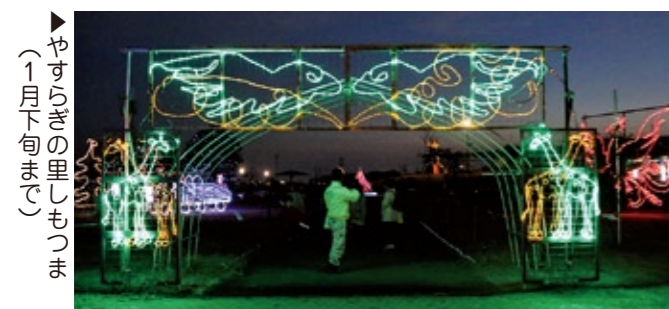
街を彩るイルミネーション 市内各所でイルミネーション点灯

やすらぎの里しもつまで11月23日、「蚕飼地区まちづくり委員会」が、地域交流イベントでイルミネーション点灯式を行ったのを皮切りに、市内各所で街を彩るイルミネーションが点灯しています。

市内の若者が集う「さぬま・桜の会」は11月29日、屋台やステージをそえた地域イベント「第1回砂沼! 冬の桜まつり」を砂沼南岸で開催し、市内外から約1千人が参加しました。夜の点灯式では、LED2万5千個を使った桜木7本と光のゲートが点灯されると、会場から「わー、きれい」などと歓声が沸いていました。

「栗山商店会」は11月30日、下妻駅前広場に竹取物語をテーマにしたイルミネーションを点灯させました。点灯式に参加した60代の女性からは「竹のイルミネーションを初めて見た。和の雰囲気イルミネーションもいいものですね」と話が聞けました。

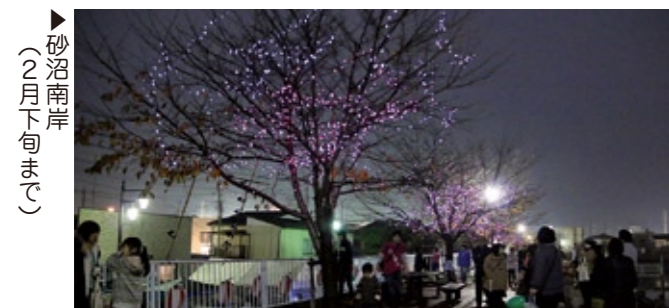
「大町・下木戸地区商工振興会」は12月7日、観桜苑の駐車場に高さ10メートルにもおよぶ巨大なツリー状のイルミネーションを完成させ、砂沼を訪れる人たちの目を楽しませています。



▶やすらぎの里しもつま
(1月下旬まで)



▶下妻駅前広場
(1月下旬まで)



▶砂沼南岸
(2月下旬まで)



▶観桜苑駐車場
(1月中旬まで)

有料広告欄

有料広告欄



補助具でバランス感覚をつかむ初心者

筑波サーキットを一輪車で走ろう

楽しい一輪車教室

体力づくりの一環として、幼いころからバランス感覚を育てようと、市内小中学校の教職員で組織する下妻市教育研究会の体育・保健体育研究部が主催する「楽しい一輪車教室」が11月29日、筑波サーキットで開かれ、市内小学校の児童148人が参加しました。

参加者の約半数が初心者という中で、補助具の手すりを使い、乗り方やこぎ出し方をやさしい声掛けで指導する日本一輪車協会公認指導員の岡山巧さんと新井佑子さん。参加者は少しでも早く一輪車を乗りこなそうと真剣なまなざしで練習を繰り返していました。

学校で一輪車に挑戦したが乗れるようにならなかったという大宝小学校3年の森晴菜さんは「先生の『前を見て乗る』のアドバイスに、バランスが取れて安定するようになった。もう少しで乗れそうな感じ。運動会の一輪車発表に選手で出場できるように、これからは練習したい」と好感触に今後の意気込みを語りました。



チラシが入った啓発品を手渡ししながら防犯を呼び掛ける一日署長の児童たち

みんなで防犯 みんなで根絶 飲酒運転 年末犯罪抑止・飲酒運転根絶キャンペーン

防犯力を高めて犯罪を抑止することや飲酒運転根絶を呼び掛けるキャンペーンが12月19日、イオンモール下妻で開かれ、下妻警察署や交通・防犯関係団体から約80人が参加しました。

開会式では、八千代町立中結城小学校1年の児童2人が一日署長に委嘱され、「おじいさん、おばあさん、電話でお金のお話をされたら全部詐欺です。気をつけましょう」などと声を合わせて防犯・交通安全宣言を行いました。

下妻警察署の櫻井哲朗署長は、前年同時期に比べて犯罪、交通事故ともに発生件数が減っているものの、管内で中学生と高校生の若い命が交通事故により奪われたことに触れ、「このキャンペーンを機に、犯罪がなくなるよう、交通事故がなくなるよう、安心安全なまちをつくっていきましょう」と参加者などに協力を求めました。



雨の中の熱戦を制して優勝

第19回茨城県健康福祉祭 いばらきねんりんスポーツ大会「輪投げ」優勝

高齢者に適したスポーツを通じて健康の保持増進を図る第19回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会の「輪投げ」で優勝を果たした市老人クラブ「村岡大和会」の篠山静子さん（85）、太田時子さん（77）、鈴木カツヨさん（77）、古澤絹代さん（71）が11月26日、市老人クラブ連合会の役員と共に市役所本庁舎を訪れ、稲葉市長に県大会優勝を報告しました。

笠松運動公園（ひたちなか市）で10月22日、雨の中で熱戦が繰り広げられた同大会には県内44市町村からクロケータ、ゲートボール、ペタンク、輪投げの4種目に計153チーム、個人競技のグラウンド・ゴルフには281選手が参加しました。

ほっとランド・きぬで6月27日に催された同下妻大会で優勝し、今回で県大会出場が3度目という太田さんは「県で優勝できてとてもうれしい。この年になってメダルをもらえるとは思わなかった」と笑顔でした。



「輪投げ」優勝の村岡大和会メンバーと稲葉市長（左から古澤さん、太田さん、篠山さん、鈴木さん）